

別記様式第2号(第5条関係)

事業計画書

(1) 事業計画の概要

項目	内容
1 団体名	NPO法人 ゆめきやんぱす
2 事業名	Let's Try みょうこうアクティビティー
3 事業の目的 ※現在の課題・問題点・目的を記載してください。	<p>【課題・問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親が共働きの中での夏休みの過ごし方 ・子どもの体験・経験不足 ・市民サークルメンバーの高齢化や担い手不足 ・市民サークルがつながるきっかけがない。 <p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みは、育っているこの妙高市で大人になっても思い出が残るぐらい、楽しく過ごす。 ・自分が体験したい分野を決めて他の児童クラブの児童や地域の方と知り合う。 ・5日間同じ体験をすることで楽しいだけではなく今後、必要とされている探究心も身につける。 ・市民サークルと連携し、サークルの方々に講師になってもらいサークルを盛り上げる。 ・体験したパフォーマンスは記念式典に参加し、サークル活動や児童の成果の披露の場にする事でお互いをエンパワーする。 ・地域の方とのつながりや楽しい思い出は妙高市への愛着を生む。
4 事業期間	2023年 4月 17日 ~ 2026年 3月 31日 ※3年間の事業期間を記載して下さい。
5 補助対象事業区分 ※該当するものに■印を付けてください	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市民や地域が抱える課題を解決するための事業 ■ 地域コミュニティの活性化を図るための事業 ■ 地域の特色を活かし、その魅力を高めるための事業 <input type="checkbox"/> 前3号の事業を実施するための計画策定 <input type="checkbox"/> その他補助することが適当と認められる事業

<p>6 事業の概要 ※事業全体の概要と「3 事業の目的」に記載された、課題・問題点を解決するための方法を記述してください。</p>	<p>期間：2025年4月1日～2026年3月31日 随時：市民サークルや実行委員など関係者との話し合い 体験教室：2025年8月4日～8月8日 8：30～13：00 8月9日 ふれあいホールで全教室がパフォーマンス発表 教室会場：新井ふれあい会館・わくわくランドあらい・新井コミュニティーセンター・妙高市総合体育館・妙高支所・矢代コミュニティスポーツセンター・新井小学校 対象：市内7か所ある児童クラブ（ゆめきゃんぱす外は3つ）から希望児童を募る。募集児童120名 数年後、軌道にのったら全児童に枠を広げ定員や教室数も増やし【妙高版夏休み】を開催し実行委員会で運営する。 実行委員会を立ち上げ、今後の運営について話し合う。 中学生や高校生にも関わってもらおう。 体験内容：うたごえ教室12名・英語教室12名・太鼓教室12名 クライミング教室18名・ダンス教室18名 楽しく作ろう教室12名・eスポーツ教室12名 フラダンス教室（新）12名・ボッチャ教室（新）12名 【スケジュール】 8：30 各クラブにバスでお迎えに行き各教室へ行く。 ※妙高市より協力を得てバスを運行してもらおう。 直接送れる家庭は、クラブに行かず教室へ行く。 8：30 受け入れ・学習・おやつ 10：00～11：30 体験 11：45 昼食 12：30～ バスにて各児童クラブへ送る 13：00 終了</p>
<p>7 期待する効果</p>	<p>児童・保護者・市民団体、学生に様々な効果が生まれる。 ・5日間やり遂げることで探究心を身につけることができる。 ・忙しい保護者にかわり楽しい夏休みの思い出ができる。 ・市民サークルの活動を地域や児童に伝えることができ、興味をもつきっかけになる。 ・つながることで市民サークルをエンパワーできる。 ・講師を市民サークルお願いすることで、今後、各団体の活動内容にアクティビティーを入れてもらい体験教室を継続することができる。 ・全部の教室が発表することで他の教室の成果をお互い感じ、褒め合うことや、市民サークルの広報になる。。 ・講師がエンパワーされ、地域活動に興味をもつ。</p>

	<ul style="list-style-type: none">・ 市民サークルが中学生の部活の受け皿【地域クラブ活動団体】への移行につながる。・ 中学生や高校生にも関わってもらうことで、より地域密着の教室となる。 <p>長期効果</p> <ul style="list-style-type: none">・ 市民サークルの活動の担い手が増える。・ 体験や人とのつながりが妙高市への愛着を生む。・ 子育て家庭を応援する地域の方（市民サークルのメンバーや学生など関係する人々）が増える。
--	--

(2) 事業内容

事業年度	事業内容（できるだけ詳細に記入してください）
2023年度	<p>体験教室 6教室開催。</p> <p>うたごえ教室・英語教室・クライミング教室・ダンス教室・色彩教室・太鼓教室。</p> <p>2023年7月31日～8月4日 8:30～13:00（土日を含まず5日間）</p> <p>8月5日のあらい祭りでパフォーマンス発表。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3教室は昨年度からの継続、3教室は市民サークルに講師依頼。 ・市民サークルの情報を地域づくり共同センターに相談する。 ・市民サークルを訪ねる。 ・教室を行うことで、児童と市民サークルとつながる。 ・パフォーマンスがある教室はあらい祭りや各サークルの発表会で披露する。 ・児童、保護者、講師にアンケートをとり、今後の事業について講師と話し合いをする。
2024年度	<ul style="list-style-type: none"> ・7つの体験教室を開催（募集人数） <p>うたごえ教室（12名）・英語教室（12名）・クライミング教室（20名）・ダンス教室（20名）・色彩教室（12名）・太鼓教室（12名）</p> <p>eスポーツ教室を新設（12名・新設・別紙補足説明あり）</p> <p>2024年8月5日～8月9日 8:30～13:00</p> <p>8月10日のゆめきゃんぱす20周年式典でパフォーマンス発表しお互いの発表を見ることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民サークル7団体を講師に迎え、ゆめきゃんぱすスタッフへの研修を行う ・高校生や大学生に運営に協力してもらえるように活動し、運営を行う実行委員会を立ち上げる準備をする。 ・会場を1か所にまとめる話し合いを行ったが難航している。 ・参加枠を妙高市の小学生に広げる為の話し合いを行う。
2025年度	<ul style="list-style-type: none"> ・体験教室を増やし、参加できる児童を増やす ・妙高市が力を入れて取り組んでいるものを体験教室で行う。 ・市民サークルを通じて、中学生、高校生・大学生を運営スタッフに迎える。 ・各団体や市民サークルと一緒に実行委員会を立ち上げる。 ・市民サークルの活動計画に体験教室を入れてもらえるよう話し合いをする。

(3) 事業スケジュール(申請年度のスケジュール)

年月	事業内容	備考
2025年 5月	<ul style="list-style-type: none"> ・新設のフラダンスやボッチャの団体との話し合いを始める ・チラシ作成 ・実行委員会説明会を開催 	
2025年 6月	<ul style="list-style-type: none"> ・講師をしてくれる団体と体験教室の指導内容について話し合いをする ・チラシを児童クラブ・学校を通じ配布 ・中旬に募集締め切り 	
2025年 7月	<ul style="list-style-type: none"> ・上旬に申し込み家庭に参加案内を郵送 ・運営スタッフに説明会を開催 ・会場や妙高版への移行について話し合う 	
2025年 8月	<ul style="list-style-type: none"> ・8/4～8/8体験教室 ・9日 全教室発表 ・児童・保護者・講師にアンケート実施 	
2025年 9月	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート集計 ・アンケート結果を振り返る ・妙高版への移行について話し合う 	
2025年 10月	<ul style="list-style-type: none"> ・講師を受けてくれた団体とアンケートを基に振り返り、今後について話し合いをする ・実行委員会を開催する ・うたごえサークルのコンサートに参加 ・eスポーツとの合同イベントを開催する 	
2024年 12月	<ul style="list-style-type: none"> ・景虎太鼓の発表会に参加 ・実行委員会を開催する 	
2025年 2月	<ul style="list-style-type: none"> ・eスポーツとの合同イベントを開催する 	
2025年 3月	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会を開催する 	

※申請年度のみスケジュールを記入してください。

別記様式第3号(第5条関係)

収 支 予 算 書

団体名 NPO 法人 ゆめきやんぼす事業名 レッツトライみょうこうアクティビティー

1. 収入 (単位:円)

項 目		金 額	積 算
自主財源	自己資金	445,697	
	小 計	445,697	
参加費・収益等⑥		60,000	500円×120人
市補助金交付申請額		861,000	(補助対象経費①:1,136,697円-参加費・収益等⑥:60,000円)×補助率80%=861,358円
合 計		1,366,697	

2. 支出 (単位:円)

項 目		金 額	積 算
補助対象経費	報償費	470,000	講師謝金 410,000 (①②③) ① 40,000円×9団体=360,000円(5日間分) ② 5,000円×9人=45,000円(発表当日) ③ eスポーツコラボイベント謝金 5,000円 バス乗車謝金 60,000円(4,000円×5日×3人)
	消耗品費	200,000	事務用品・消毒・救急用品・熱中症対策グッズ・各教室に必要なもの
	食糧費	15,000	講師飲み物代 15,000円 100円×30人×5日
	印刷費	50,000	チラシ・申し込み用紙・アンケート・写真などの印刷代
	通信運搬費	30,000	参加案内・チラシ郵送などの切手代
	保険料	30,000	教室5日間・発表当日・講師含む 120円×250人
	手数料	500	振り込み手数料
	委託料	281,197	体験教室運営謝金 281,197円※見積書添付あり シルバー人材派遣センター 1,082円×4.5H×5日×9人・発表引率 1,082円×3H×9人 交通費 550円×5日・事務手数料 30,128円
	賃借料	60,000	教室で使う道具など 1,000円×10個×6日
	小 計①	1,136,697	

補助対象外経費	報償費	200,000	運営スタッフ謝金
	食糧費	30,000	おやつ代 50 円×120 人×5 日
	小 計	230,000	
	合 計	1,366,697	

